

KOCHI 2016 ROTARY 2017 CLUB SINCE 1937



2016-17年度 RIテーマ

週報



Weekly report

第3300回
第3301回

2017年 4月18日

2017年 4月25日

2017年 5月9日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。先週末は高松の地区大会に総勢32名で行って参りました。大会参加者は2670地区2,146名を数えて、非常に賑やかな会となりました。驚かされたのは、これだけ多人数の中高齢者の出席した2日間に、私の知り得る限りでは救急車のサイレンの音が聞かれなかったことです。多くの方が経営者であるだけに、体調管理(リスクマネジメント)が立派になされていることに感心した次第です。

3年前の高知大会で、竹下篤範先生と看護師さん、そ

れとロジスティックス担当の私が医務班でしたが、同じように救急搬送はゼロでした。絶えず、会場の参加者に体調不良者がいないか、目配りをしてくださっていた先生の姿が思い出されます。

次年度は高知東ロータリークラブの主催で今年の11月に行われます。同胞クラブとしてしっかり応援していただきたくお願い申し上げます。

最後に、森本親睦委員長はじめ委員会の皆さんに大変お世話になったことに感謝します。いろんなところに連れて行っていただき、うどん、串揚げ、若鶏、ひな鶏等々お腹いっぱい楽しかったことを感謝申し上げます。



■本日のプログラム [5月9日]

70周年記念式典の動画上映会

会 長	川 添 昇
副 会 長	高 村 禎 二
幹 事	伊 丹 由 美
副 幹 事	高 橋 明 子
会報責任者	森 木 潤 一 郎

4月18日 例会

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **新入会員紹介**



・ 君波 真氏挨拶

私は、you (君) wave (波) true (真)、あるいは社内では、名前を音読みで「くんばしん」と言われています。

最近、いろんなところを回っていますと、前任の小園とタイプが違うねと言われます。学生時代からラグビーをしていましたので見た目もこんなですが、内面は非常にソフトで小園と変わりはないと思っていますので、何とぞよろしく願います。

趣味はゴルフです。高知にはたくさんいいゴルフ場があるということですから、ぜひ皆さんと一緒にさせていただきたいと思います。早く皆さんの顔と名前を覚えたいと思っていますので、何とぞよろしく願います。

● **幹事報告**

- ・ 4月25日(火)は8RC合同夜間例会です。ホテル日航高知旭ロイヤルにて18時半からです。昼の例会はございませんのでご注意ください。
- ・ 5月2日はロータリー休日です。例会はありませんので、同じくご注意ください。
- ・ 地区大会のバスの中に忘れ物がありました。資料と一緒に本が入っています。心当たりのある方は事務局までご連絡ください。



◆ **情報集会報告 第2回**

◎ 6日 A班 (発表・川崎敦子会員)

リーダーは田岡会員、メンバーは佐竹会員、高橋明子会員、土倉会員、中田会員、日和崎会員、吉村会員の8名で時間いっぱい話し合いました。お料理がとてもおいしくて、シンショウガのかき揚げから始まり、ワインを飲みながら、カルパッチョ、ローストビーフ、大変おいしいものをいただきながら、たくさんの会話が飛び交いました。その中でまず4月6日Aグループでは、燦燦基金は高知RCの事業として継続するという事で一致しました。



賛同理由：高知RCは地域のために何をするか、何に重きを置くか、燦燦基金は高知RC独自のもので胸を張って言える事業である。高知RCとして、重要な問題として常に前向きに改善・改革をしないといけない。長年の歴史の中で、形骸化された経営問題の改善にも手をつけ、ロータリーの仕組みを変えるチャンスであり、80周年に道筋をつくる大事な時期なので高知RCオリジナルの燦燦基金の優先順位を上げた方がいい。

学業断念、自分の夢を諦め、かなえることを断念する学生が多く、4割は地元の大学生が奨学金を受けている。月に1万円の教材、本代の足し程度がなぜできないのか。燦燦基金は高知の地元の人を応援し、大事にして育てる基金ではないか。奉仕をするにも金銭的にもアンバランスのような気がするという意見がありました。

また、燦燦基金を継続するために、高知RCと他のクラブと同調して賛同してやってもらえるところはないか。青少年奉仕委員長が週報に載せたらどうだろうか。高知RCの最優先事業だということを知らせなくてはならない。強化月間をつくるなど、会員の意識を一致させ情報をきちんと共有する。ひと月のうち一度でも例会の発表とか年度の変わり目に燦燦基金の報告など、きちんとした説明をしなければならないという意見もありました。

財源をいかに確保するか、ニコニコとワンコインボックスのやり方等、まず大事なことは伝えなければならないし、燦燦基金の運営の仕方は適当ではいけない。毎月8万円、年間96万円、ニコニコ6,000円とワンコ



インボックス500円×12ヵ月を集める方法について、原点に帰って考える。①ワンコインボックスのみで継続、②クラブの予算の立て方を考え直す方法、③請求書による寄付、この3案の結論は出ませんでした、クラブの方針に従うということではないかと存じます。

燦燦奨学生とのあり方。アルバイトで忙しい最中、話すよりは燦燦レポートで良かったのではないかとこの意見がありました。年に1、2度のレポートでは燦燦奨学生の顔が見えないのではないかと高知RCで話す燦燦スピーチはとて彼らのためになる、という話とかいろいろ出ました。

その他、雑談の中で拾い上げたものは、燦燦奨学金は専門学生の生徒にも回せないか。いろいろ頑張っている学生にも支援したいというお話がありました。仕送りゼロの大学生が多い中、奨学金に対する認識が低く、某会員の会社では給与型奨学金、高知に就職するという条件のみで返済の必要がなく、高知大生、高知高専の2名、240万×2名分の奨学金を毎年行っつらっしゃるそうです。

あと、河野基金、宮本基金を知らない会員への説明をして欲しい。

最後に、今日は某会員の親父ギャグが出なかったということで情報集会は無事に終了しました。某会員がご出席なさる機会が少ない中、熱い議論を拝聴しました。ギャグが出ない程、真摯に取り組まれている議案と拝察いたします。皆さまにもぜひ新たな気持ちで燦燦基金の継続にご支援賜りたいと存じます。

◎ 6日 B班 (発表・森恒一郎会員)

出席者は久場会員、入交章二会員、大登会員、高野会員、津野会員、森本道義会員、山崎広一郎会員、そして私です。オブザーバーで前半、伊丹幹事、後半は会長が来られました。

まず、しっかり話をしようということで食事等を止めて、話し合いを先にしました。

継続の可否については、一同賛同のもと辞める理由がわからないということで、必ず継続しようという話で一致しました。特に、各大学の方から、もしくは過去受けられた学生さんからもすごく感謝の念を伝えられる機会が多い方がたくさんいて、こんな有意義な制度はぜひ継続していこうという話になりました。

とは言え、人数や予算の件で案として2人で各1万円の現行プランか、人数を1人に絞って2万円にすることを検討してはどうかということも出てきました。過去の委員長経験者から、大学側へ話をしに行っても他の奨学制度は月3万とか5万円など高額なものが多い中、なかなか1万円となると、正直大学側、学校側としてもPRに後ろ向きというかや



り辛いこともあったからということも出てきました。じゃあ、1万円というのはどうなのかということについては、過去にもいろいろ議論をしたということで、入交会員、山崎会員、伊丹幹事から過去の経緯、どういう思いで1万円で行っているかを聞いて、みんな腑に落ちたというか納得した次第です。

資金調達の部分ですが、思いがあって70周年のときに始まった制度ということは何って、趣旨はわかるんですが、転勤族の方を中心にやはり自分のポケットから全部出していくのは正直厳しい。できれば請求書で回してもらえれば、会社として取り組める。今の募金中心のものから請求書の部分もぜひ入れてもらいたいということでした。現行、年間必要資金が96万円と伺っているんですが、そのうち4割ぐらい、40万円ぐらい募金を頑張っつて残り60万円分ぐらいはどういう形かで割って請求書に入れてもらう方が積極的に参加ができる。もう一つ、米山奨学金は非常に資金潤沢なこともあると聞いているので、そういう資金は何とかこちらの方に回せないだろうか。

続いてPR不足の部分ですが、青少年奉仕委員長になられて、いざ大学とかに説明に行くと、そもそも制度自体を知らない担当者がいらっしやったりするので、対外的にしっかりPRしていかないといけないんじゃないかという話が出ました。クラブ内でもPR不足なんじゃないかということなので、今回の情報集会はすごくいい機会、こういう説明の機会が今後もあればいいよねということが出ました。PRをクラブ内にしていく意味でも、例会に奨学生の方にはぜひ積極的に出てもらいたいということですが、なかなか、アルバイトのこととかもあって出づらいつい意見もありました。ただ例会に参加すると名だたる企業のトップの方々がいらっしやっつて、まさに就職活動とか、そういうことで考えるとこんなすごい機会はないと思いますので、その辺なんか積極的にPRしていつてはどうかという話になりました。奨学金を受けている本人も、そもそもこの奨学金制度ができた経緯を知らない人が多いんじゃないかということもあるので、彼らにとってもいい機会なので、ぜひ参加して欲しい。それと、歴代の奨学生の方が今どうしているかということも知りたいし、歴代の方を一堂に集めるようなこともしてみると、昔の思い出深い奨学生もいたりして面白いんじゃないかという話になりました。

奨学生の人選ですが、何とか地元で就職する限定とかいうようなことができないものだろうかという話は出ました。やはり奨学金が出て、やっても東京の方から首都圏に就職してしまうという現状ですので、その辺何とかできないのかという意見が出ました。

あと、名称について。燦燦基金ということで、さ

数人、恥ずかしながら私も含めておまして、ぜひ名前に「高知ロータリークラブ」とかを入れたらどうかという話です。開始当初、他クラブにも声をかけたところ、なかなか賛同が得られなくて高知RCの独自企画になったという話も伺ったんですが、「高知ロータリークラブ燦燦奨学金制度」とか、そういう名前が出るとPRできていく。他クラブも真似したくなってくるといふことで、横への広がりも出るんじゃないかということでした。

そのようなことが大体内容でして、情報集会の内容として非常に今回重いということと、資料もFAXで大量に来たので、皆ちょっとびっくりされたということで、情報集会とは別に会議を開いて、情報集会自体はちょっと軽く楽しみながらの方がいいんじゃないかという話も出ていました。

ということで、大体話は終わりました、飲み会に突入ということで、そこからは釣り具屋さんの久場さんがリーダーでしたので、お魚ネタで盛り上がり、アカメを1回食べてみたいとか、高知のボラはおいしいとかいう話になりました。途中から会長が参加してきて、会長から「ボラのホラ太郎」という物語を作ったとかいう話が出てきたり、いろいろな角度に話が飛びました。久場リーダーの進め方が非常によく、こんな楽しい会はないので、次回の情報集会が楽しみだということでした。

◎ 7日 A班 (発表・眞田直也会員)

リーダーが南会員、メンバーが関雅文会員、森木会員、横田会員、熊野会員、オブザーバーとして高村副会長、伊丹幹事に参加していただきました。あと、私、眞田です。

今回の情報集会は、目的は議論よりも親睦を深めることが一番の目的だということで、高村副会長から最初にお言葉をいただきましたので、楽しくやらせていただきました。ラ・ヴィータでイタリアンをいただきながら、もちろんビールはアサヒビールをおいしくいただきながら楽しく議論しました。

私もビールを飲み過ぎていましたし、また2週間ほど経っていますので若干ねつ造しているところがあるかも知れませんが、ご容赦いただければと思います。

再度、70周年記念事業の燦燦基金の意義を確認しました。70周年の事業計画に書かれていますが、教育支援事業で地域のために何かをしようよということと、地域を担う人材開発に支援をとということ、あとささやかな援助ではありますが、将来的には継続的で充実した支援制度を目指しているということが書かれています。また、財源の確保にはワンコインボックス募金とニコニコ箱を基本財源とするということでした。

ただ、現状としては募金の意義が会員の方に伝わ



ていないとか、あと忘れられているのではないかということ。また毎月500円のワンコインボックスが一人歩きしており、ニコニコの方がちょっと忘れられている傾向が強いのではないかという意見が出ました。

そういったことを解決するために、再度、募金を何のためにやっているかという意義ですとか、ニコニコの6,000円はお花代に充当されるとか、そういったことをA4の用紙にまとめて、新入会員を中心に、食事中にもう1回話をしてはどうか。またニコニコの2,000円を1,000円にしてはどうかという意見が出ました。

また、ささやかな援助ではあるが、将来的には継続的で充実した支援制度を目指しているということも重要な目的ですので、計画の将来展望に記載されているように、公益財団法人化を検討して事業の信頼性を高めて、2名だけではなくて、多数の学生を将来的には援助できるように取り組むべきではないかというご意見も出ました。

情報集会の話は、燦燦基金の話はこれぐらいで終わったんですが、その後は人生において、非常に必要な議論が交わされました。特に、森木会員、横田会員、熊野会員から素晴らしいご意見が出ましたので、披露させていただきます。

女性が本当に悪いときにはごめんなさいと言って欲しい。男性ももちろん謝らなければいけません、女性も悪いときにはごめんなさいと言って欲しい。男性も女性も常にありがとうの心を忘れてはいけません。また、口に出してそれを伝えないといいない。

他にもいろいろと素晴らしい意見が出たんですが、私の口からはこの場では言えませんので、また別の機会にゆっくりお伝えしたいと思います。

◎ 7日 B班 (発表・磯村康志会員)

メンバーは、真鍋会員、大久保会員、竹下会員、森本征彦会員、森由枝会員に私です。加えて、前半に伊丹幹事、後半に高村副会長にオブザーバーとして参加いただきました。

ラ・ヴィータで、ビールとワインを傾けながら大人の会を進行しました。冷静な議論が交わされたかと思えます。

まず燦燦基金の評価としては、全員一致で燦燦基金は継続すべき、非常に貴重な財産であるということ。そして、現行の給付金額、月1万円という部分でも実際に学生さんからは高く評価されているという実績も含めてご報告もあつたりして、1万円は決して安くはないという評価をいただいているということでした。

問題の財源の確保に関して、そもそも目的が会員内でも非常に周知されていない部分がある。特にワンコインボックスという言葉、ワンコインって一体何なの





だ。どの期間でワンコインなのだろうとか、そういった部分の、そういう発足のときの内容が実は忘れられてたりしてる部分もあるんじゃないかということでした。そこは強化しないといけないですねと。それから、新入会員についてはスポンサーがしっかり説明、責任をもって基金の成り立ち、運用方法等を説明すべき。

あと、実際に日々進行していくところですが、例会の度に募金の収集状況をその都度発表して、足りないからもうちょっと頑張ろうとか、あるいは達成しそうでありがたいと言ったことをしっかり発表することによって、募金に対してもっと積極的に取り組む状況をつくるべきというご意見がありました。

基金を推進するという意味合いにおいて、燦燦基金委員会をつくるべきという意見がありました。かつ、委員長は1年単位で代わってしまうと引き継ぎ等々うまくいかないで、3年から4年の任期が適当である。集金方法を会費制にしてはどうかという意見もありましたが、会員個人が自発的に行うのが筋であるという意見が多くありました。また、他のクラブや地区大会等でさらに協力の働きかけをもっとすべき。ただ、いろいろ難しいこともあるけれども、こういったことも諦めずにやっていった方がいいという意見をいただきました。

次に対象となる学生個人との交流に関わるところです。こちら全体として、もっと学生との交流を増やしたい。また、卒業後の動向も知りたい。短期間、学生のころだけのお付き合いではなくて、その後も関わっていきたいという意見がありました。そのためには、基金を学生への提供に際して、例会等への参加等を前提に、あるいは条件として最初に基金を提供した方がいいんじゃないかと。学生によっては4年間1度も交流をしてくれない学生さんもいるということで、学生さんとの交流をもっとしたいという意見が多くございました。

理由として、社会の成功者である方々との交流は、学生にとっても視野を広げるいい機会となり、財産となるはずであるということです。

さらに、直接的基金に関わる場所ではないんですが、そもそも高知RCの特徴、そして成り立ちとは何なのかというような情報が会員の中で共有されてないところがあるんじゃないか。先輩方に高知RCの歴史、そういったことの卓話をいただくとか、先輩方に高知RCのことをお話いただくことを通じて、もっとロータリーを知っていききたいという意見がありました。

今回の情報集会については、テーマを決めて実施するのは大変焦点が絞れていいという意見もありました。

● 会長講評

皆さん、たくさん意見ありがとうございました。今回の情報集会は燦燦基金にフォーカスされて、とても突っ込んだディスカッションをしていただきました。あわせて皆さんの声としていただきましたアンケートも含め、理事会に諮りまして、また皆さんに提案させてもらおうというふうに思っています。しっかり皆さんの声を反映してやっていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

◇ 例 会 変 更 ◇					
高知ロイヤルRC	5月 9日	創立記念夜間例会(旭)	高知北RC	5月15日→5/13(土)	野外例会に振替(三)
高知北RC	5月22日→5/20(土)	清掃例会に振替(三)	高知南RC	6月 8日	日時計例会(阪)
高知ロイヤルRC	6月13日→6/11(日)	職場例会に変更(旭)	高知西RC	6月16日	夜間例会(三)
高知北RC	6月19日	夜間例会(三)	高知北RC	6月26日	ロータリー休日(三)
高知RC	6月27日	夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	6月27日	夜間例会(旭)
高知東RC	6月28日	夜間例会(阪)	高知南RC	6月29日	夜間例会(阪)
高知中央RC	6月29日	夜間例会(城)	高知西RC	6月30日	ロータリー休日(三)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	マークアップ	出席率
4月18日	(-6)93	51	30	6	65.52
4月 4日	(-10)91	56	4	21	95.06

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	マークアップ	出席率
4月25日	(-9)93	54	13	17	84.52
4月11日	(-6)92	57	5	24	94.19

4月25日 高知 8RC 合同夜間例会



5月のお祝い

- | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|--------|-----------|
| (会員誕生日) | 松崎郷一郎 | 芝藤 倫朗 | 野村 直史 | 高野 一郎 | 福島 清三 |
| | 森本 道義 | 右城 猛 | 大登 正志 | 安光 保二 | 各会員 |
| (配偶者誕生日) | 入交 明子 | 津野 松英 | 吉澤 実倅 | 各会員配偶者 | |
| (結婚記念日) | 武樋 泰臣 | 高村 禎二 | 森本 道義 | 佐野 研治 | 野村 直史 |
| | 紫藤 秀久 | 武者 弘晃 | 関 雅文 | 真鍋 伸一 | 土本 昭雄 |
| | 芝藤 倫朗 | 高野 一郎 | 吉村 貴志 | 亥角 政春 | 森 恒一郎 各会員 |

◎ 2016-2017地区大会 4月15日(土)～16日(日) 香川県高松市



● お知らせ

四国ガス(株)高知事務所が移転しました。クラブ計画書名簿の変更をお願いします。

武田一宏会員 会社新住所 〒780-8052 高知市鴨部1-20-24

新TEL 088-802-5005 新FAX 088-802-5006


ニコニコ箱 [4月18日]

- 野村 茂 会員の皆さま、お気づきのことと存じますが、今日の例会は事務局として、河野さん、片岡さんのツートップが担当してくれています。今後ともよろしくお祈いします。
- 宮地 貴嗣 高知ユナイテッドSC天皇杯高知県予選決勝で高知大学さんに勝利。高知県代表として4月23日(日)JFLのヴェスパ大分と戦います。日帰りバスツアーも用意しております。勝てば6月21日(水)にガンバ大阪と戦います。皆さんの応援をお願いし、ニコニコします。
- 森本 道義 3月末に転勤された野村證券の小園さんよりお電話があり、送別プレゼントの記念時計が無事に届きましたとのこと。メールでお礼を皆さまにしたいと思っておりますが、社内のセキュリティシステムのためできず、皆さまによりよくお伝えくださいとの、お礼のお電話でした。高知が懐かしいと元気なお声でお話されていたので、ご安心ください。先日の地区大会におきまして、大変多くの皆さまよりねぎらいのお言葉をいただき、誠にありがとうございます。ご協力いただきました森恒一郎さん、武田さんをはじめご参加いただいた全ての皆さまに感謝、感謝です。バスガイドの声がしゃがれており、お聞き取り難く申しわけございませんでした。
- 大登 正志 皆さまのBOXにゴールデンウィークにさんさんテレビさんと開催する岩合光昭さんの「ねこ歩き写真展」のご案内を入れさせていただきました。まるで人間のような仕草(池乃めだか程単純ではありません)が、とても可愛い作品ばかりです。今年の連休は大丸のバーベキューとねこ展でお楽しみください。
- 竹下 篤範 今週から長女が常勤医師として、診療スタッフの一員に加わってくれることになりました。専門は老年内科です。親としてはやっとなという思いですが、約30年近く過ごした東京での生活を打ち切って帰ってきてくれました。これからは、生まれ故郷で頑張ってもらいたいと思っています。今後ともよろしくお祈いします。
- 高村 禎二 妻の誕生日に美しいお花を贈っていただきありがとうございました。毎年助かっています。
- 安光 保二 地区大会、ゴルフコンペに参加、トビ賞(30位)でした。楽しい1日を感謝してニコニコします。
- 高村 禎二 } 四国地区大会では皆さまにお世話になりました。とても和やかで楽しい遠足でした。ありがとうございます。
- 高橋 明子 } た。いろいろとお世話くださった森本委員長、森会員、武田会員の行き届いたお心使いに感謝申し上げます。なお、次年度の地区大会は高知で11月に開催されます。皆さま、ぜひご参加くださいませ。
- 川添 昇 } 地区大会には32名という多くの方々に参加していただき、どうもありがとうございました。森本親睦委員長には特にお世話になりありがとうございます。今年度の大きなイベントもこれで終わりほっとしているところ
- 伊丹 由美 } ですが、残りの2ヵ月半、どうぞよろしくお祈いいたします。
- 中島 和代 先日の地区大会では、森本さんをはじめ親睦委員会のご担当者さまに、大変お世話になりました。楽しくお腹いっぱい地区大会となりました。ありがとうございます。ニコニコ!
- 津野真千子 } 地区大会では大変皆さまにお世話になりました。年とともに物忘れ等々多くなり、皆さまにご迷惑かける私
- 杉本芙美子 } たちですが一生懸命に免じて、これからもよろしくお祈いいたします。
- 藤田 洋子 }
- 中田 由季 地区大会では、森本委員長をはじめ親睦の皆さまには大変お世話になり、楽しく過ごすことができました。ありがとうございます。
- 南 範子 高松の地区大会では、会長、幹事はじめ皆さまには大変お世話になりました。特に親睦の森本委員長、森会員、四国ガスの武田さん、さぞかし神経を使われたことでしょう。お疲れ様でした。そしてありがとうございます。
- 高橋 明子 } 地区大会の行き帰りには、森本親睦委員長をはじめ皆さまには大変お世話になりありがとうございます。帰
- 津野真千子 } りの昼食、武田会員おすすめのおいしい鳥料理のお店、一鶴(いっかく)で男性会員にご馳走になりました
- 中島 和代 } のので、ニコニコさせていただきます。
- 中田 由季 }
- 藤田 洋子 }
- 古谷 純代 }
- 南 範子 }
- 伊丹 由美 }

● 累計額 [4月18日現在]

ニコニコ箱	923,700円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	284,881円	ポリオ募金	315,700円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [5月16日]

ゲストスピーチ
魚と山の空間生態研究所 代表
やました しんご
山下 慎吾氏
「川エビの唐揚げ: その背景にあるもの」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>